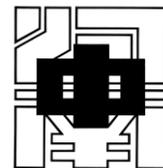


清・明・朗



米原市立河南中学校
学校だより 第32号
令和6(2024)年3月22日(金)



学校教育目標「**人権感覚を磨き、地域愛あふれる生徒の育成**」

(文責：校長 上村)

冬桜と春の桜 ~ 見えない美しさに見える美しさ ~

今年度、最後の『清・明・朗』となりました。☺

さて、3学期を振り返るとこの冬は、1月下旬の突然の大雪で一日だけ臨時休校に見舞われました。冬の寒さは続いているようですが、あっという間に三月に入り、今日、今年度の修了式を迎えました。1月の積雪の後、雪が溶け地表が現れると、春を待ちわびたかのように、陽射しを浴びた新緑の草木が一斉に芽吹きだし、例年より春の訪れが早くなっています。

いよいよ4月からは、卒業した3年生は自分で決めた進路先でスタートし、1・2年生は、それぞれ進級して新学年をスタートします。その頃には、あちらこちらの桜の花が満開になります。春の風に包まれて咲き誇る桜の花は、本当に美しく、見る人の心を癒やし、晴れやかな気持ちにさせてくれます。



右上と同じ桜の木



しかし、人によっては2月頃の花も葉っぱも無い黒々とした枝を空に突き出す、その桜の姿が美しいと言う人がいます。枝だけで、冷たい風や寒さに耐え、土に張りめぐらした根っこから、4月に美しい立派な花を咲かせるため、一生懸命栄養をくみ上げています。だから、1年間のうちで、一番頑張っている時期の姿が美しいのだというのです。そして、葉を付けないまま、一気に桜の花を木々いっぱい咲かせてくれます。だからこそ見えない美しさがあるのかもしれない。

この桜のお話のように、見えないところでの美しさに気付いてほしいと思います。ぱっと表面を見ただけでは華やかな美しさが見えなくても、陰で一生懸命に努力することの美しさに気付いてほしいと思うのです。

人生は、スポットライトを浴びる時もあれば、そうでない時もあります。上手くいかないことをマイナスに考えるのではなく、そんな時だからこそ、地道に努力することが大切であり、ひたむきに頑張る姿を大事にしてほしいと思います。



私たちにも、優雅に過ごせる時期や厳しさに耐えなければいけない時期があります。簡単なことでは無いかもしれませんが、最も大切なことは『命』の大切さであり、「自分」と「自分以外の他者を思いやる心」です。

【自分を大切にしてください。人を大切にしてください。見えないものを大切にしてください。】

苦しいときは、みんな同じです。そんなときこそ助け合いながら厳しさに耐えて、やがて来る『春』に大きく夢を咲かせてください。

3年間の中学校時代を共に過ごす仲間、「ひよっとしたら卒業後、二度と会えない人がいる…」かもしれません。「人を傷つけたり、傷ついたり…」は絶対に嫌です。とにかく、出会いや仲間を大切にしてほしいと願っています。

4月からステキな日々を送っていくために、桜の木のように栄養を心身に充分ため込み、がんばる時期が必要です。それが今の時期であり、その姿はきっと美しいはずです。自分の得意なことや、やり残したことなどにじっくり取り組んでください。そして、一人ひとりに優雅な花が咲くことを楽しみにしています。